

## 2015年漁期におけるヤリイカ冬季来遊群の漁況予測結果

2015年漁期（2015年8月～2016年2月）に青森県～北海道渡島～岩手県で漁獲されるヤリイカ冬季来遊群の漁況予測を行ったので、その結果をお知らせします。

### 【予測結果】 前年並みの水準

予測漁獲量: 1,696～1,970 トン

前年（2014年8月～2015年2月）の漁獲量 1,633 トンに比べて 104～121%

直近 5 ヶ年（2010年～2014年）の平均漁獲量 1,073 トンに比べて 158～184%

### 【解説】

#### 1. 漁獲状況の推移

1985年に696トンと最低となって以降、増加に転じ2000年頃まで2,000トン～4,000トンで推移した。2000年以降は減少傾向となり、2002年と2007年を除き、1,000トン～1,500トン程度で推移し、2008年以降は1,000トン前後で推移している。2014年は1,696トンだった。

#### 2. 漁況予測の方法

予測対象: 2015年8月～2016年2月のヤリイカ冬季来遊群の漁獲量

予測海域: 青森県～北海道渡島～岩手県

予測方法: 当該海域の漁期序盤（8～11月）と漁期全体（8月～翌年2月）の漁獲量には高い相関があり、算出された一次回帰式  $y = 3.5057x + 545.01$  ( $n=31, r^2 = 0.8276$ ) に下記(1)～(3)の漁獲データを代入して求めた(図1, 2)。

(1)青森県の漁獲データ: 日本海の沖合底びき網漁業を除いた青森県全域の8月～11月の漁獲量（泊・奥戸・竜飛今別東部支所・風合瀬の4漁協除く）。

(2)岩手県の漁獲データ: 岩手県全域の8月～11月の漁獲量。

(3)北海道の漁獲データ: 北海道渡島海域の8月～11月の漁獲量。

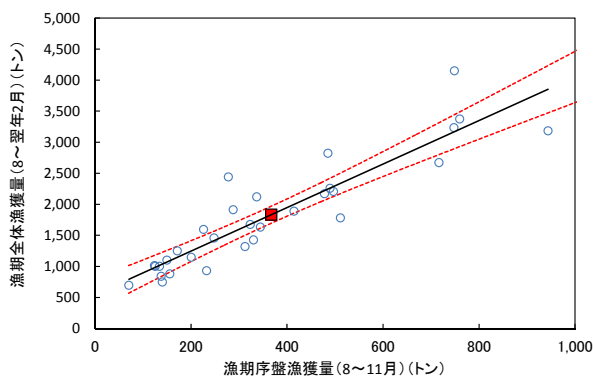


図1 漁期序盤と漁期全体の漁獲量の関係

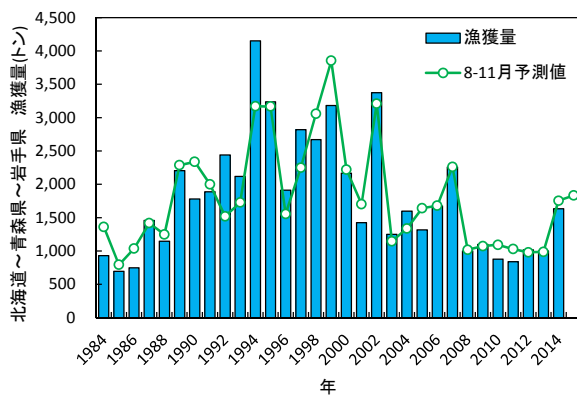


図2 青森県～北海道渡島～岩手県におけるヤリイカ冬季来遊群の漁獲量の推移及び予測値